

図画工作科学習指導案

指導者 村上 千佳子

1 学 年 第5学年 13名

2 場 所 奥田元宋・小由女美術館 常設展示室

3 題材名 アート・レポーターになって ～奥田元宋の世界へようこそ～ 【領域】「みる」

4 題材について

題材観

本題材は、学習指導要領に示された次の目標と指導内容を受けて設定した。

	第5学年の及び第6学年の目標	第5学年の及び第6学年の指導内容
B 鑑 賞	(3)親しみのある作品などから，よさや美しさを感じ取るとともに，それらを大切にするようにする。	(1)ア 自分たちの作品，我が国や諸外国の親しみのある美術作品，暮らしの中の作品などを鑑賞して，よさや美しさを感じ取ること。 (1)イ 感じたことや思ったことを話したり，友人と話し合ったりするなどして，表し方の変化，表現の意図や特徴などをとらえること。
(共通事項)	ア 自分の感覚や活動を通して，形や色，動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に，自分のイメージをもつこと。	

本題材は奥田元宋の作品について，その絵に表されていることや作者の表現の意図や特徴などを，考えたり調べたりして人に伝えることをねらいとしている。

奥田元宋は三次市吉舎町出身で，自然の風景を「元宋の赤」といわれる様々な赤を用いて表現したことで有名な画家である。

児童はこれまでに何度か奥田元宋・小由女美術館へ行って鑑賞したり図録や絵葉書を見たりする中で「奥田元宋の絵」に親しんできている。また，児童は昨年度「奥田元宋の赤に挑戦」と題して，色々な“赤”をつくって奥田元宋の「炎王図」の炎を表現する学習をした。その際，作品を美術館に展示していただき自分の作品について「元宋さんはこうだったけど自分はこうしたかった。」などと語り合う学習をしている。

「紅嶺・白嶂」の鑑賞の学習では，「この作品のここが好きだからこの絵が好き。」「この絵とこの絵を比べてみると...」「夜空に二つの明かり...これは夜明けかな？」「これは，山かな？それにしては木が一本もないから...雪の中の崖かもしれない。」などと自分の思いをつぶやいたり担任に話したりした。

このように美術館を活用していろいろな経験をしている児童が，さらに能動的な鑑賞を行い，考えたり調べたりしたことを自信をもって人に伝えさせたいと考え，この題材を設定した。

本題材でつけたい力は次の通りである。

- ・奥田元宋の作品を鑑賞し，自分が読み取ったり考えたりした内容を，人に伝えるための文章にまとめるようとする力。 【感じる力】
- ・作品に表されている形や色から，よさや美しさなどを感じ，作品の内容や作者の意図などを考える力。 【考える力】
- ・作品全体の印象や細かい部分の特徴をとらえる力。 【みる力】

児童の実態

本学級の児童は、これまでに様々な鑑賞の学習をしてきた。前述のような美術館と連携した学習以外にも、「スケッチタイム」の時間を使って、藤城清治の作品や「国芳 浮世絵版画」などの絵をみて気付いたことを語り合ったり、絵をみて想像したことを詩やお話にしたりしてきている。児童は意欲的に取り組み、自分の思いや個性にあふれた表現ができていた。また、「鳥獣人物戯画」「凱風快晴」「国芳 猫の当字」やアートカード等、様々な絵や作品を見てミニ鑑賞会を行い、自由に意見を出し合う経験もしてきた。

調査人数 13人 単位（人）	当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
友だちの作品をみることは好きですか。	10	2	0	1
作品について思ったことや感じたことを話し合うのは好きですか。	4	5	3	1

しかし、児童アンケートを見てみると、友だちの作品をみることは好きだが、作品について話し合うことはあまり好きではない児童がいることも事実である。これは、自分の感じ方や見方に自信がなかったり、人に伝わるように順序立てて話すことへの苦手意識や必然性を感じなかったりするためではないかと考える。

指導観

指導に当たっては、次の点を大切にしていきたい。

【感じる力を育てる手立て】

奥田元宋・小由女美術館の常設展をじっくり鑑賞させる。たくさんの作品の中からお気に入りを見付けさせ、グループごとに自分はどんなところが気に入ったのかを自由に話させる。見て感じたことや思ったことを自由に話させ、作品を紹介する際のキーワードとさせる。

これまでの学習では自分自身が感想を持ったり友だちと話し合ったりする活動にとどまっていたが、今回は奥田元宋の作品について感じたこと思ったことをまとめるだけでなく、まとめたことを来館者や参観者に伝えるというめあてを持つことで、「相手」を意識して話す必然性を持たせたい。また、安心して話せるように作品や奥田元宋について十分調べさせておくなど準備を十分にさせておきたい。

【考える力を育てる手立て】

作品をじっくり鑑賞した後まとめる際に、疑問に思うこと不思議に思うことも出てくると思われる。指導者は美術館等とも連携し、その絵についての特徴や様々な情報をしっかりつかみ、児童に情報提供ができるようにしておく。

【みる力を育てる力】

作品についての印象は児童の自由な感性に任せるが、「形」「色」「動き」「奥行き」等に視点をおき鑑賞させていきたい。そのことが作者の思いや心の揺れによる表し方の変化、作者の過ごしてきた時の違いによる表現の意図や特徴をとらえる上での手がかりになると考える。また、グループ内で話し合う際には、友人の話し方に共感するとともに、自分のイメージを作品と関連づけて話したりまとめたりさせ、自分の考え方を確かにする活動にさせていきたい。

5 題材の目標

- 作品から感じた内容を、人に伝えるための文章にまとめようとする。
- 作品について、表されていることや作者の表現の意図などを考える。
- 作品の全体の印象や細かい部分の特徴などをとらえる。

6 題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度 (感じる力)	エ 鑑賞の能力 (みる力)
作品をみて自分が読み取ったり考えたりした内容を、人に伝える文章にまとめようとしている。	作品に表された形や色のよさや美しさ、動きや奥行きを感じなどや作者の意図などを感じ取っている。 自分が読み取ったり考えたりした内容を人に伝えようとし、友だちが伝えようとしたことを感じ取ろうとしている。

7 指導と評価の計画(全6時間)

次	学 習 内 容 (時 数)	評 価		
		ア	エ	評価規準 評価方法
一	○奥田元宋・小由女美術館で絵を鑑賞し、紹介したい絵を見つける。(2)			・作品に表された形や色のよさや美しさ、動きや奥行きを感じ取っている。 行動観察 発言 ワークシート
二	○奥田元宋の作品を見て、作品全体の印象や細かい部分の特徴をとらえ、作品の背景や作者の心情について調べる。(2)			・作品に表されている形や色から、よさや美しさなどを感じ、作品の内容や作者の意図などを考えている。 行動観察 発言 ワークシート
三	○グループで紹介する文章にまとめる。(1)			・作品をみて自分が読み取ったり考えたりした内容を、人に伝える文章にまとめようとしている 行動観察 発言 ワークシート
四	○奥田元宋・小由女美術館で、考えたり調べたりしたことを紹介し合う。(1)【本時】			・作品から感じた内容を人に伝えようとし、他の人が伝えようとしたことを感じ取ろうとしている。 行動観察 発言 ふりかえりカード

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・考えたり調べたりしたことを紹介し合い、友だちが伝えたいことを感じ取る。

(2) 本時の評価規準

自分が読み取ったり考えたりした内容を人に伝えようとし、友だちが伝えようとしたことを感じ取ろうとしている。
【鑑賞の能力】

(3) 準備物

〔指導者〕

- ・ふりかえりカード

〔児童〕

- ・アートフォリオ、発表に必要なもの

(4) 学習展開

学習活動	指導上の留意点 (支援を要する児童への手立て)	評価規準 (評価方法)
1 本時の課題を確認する。		
奥田元宋の絵をプレゼンテーションしよう。		
2 考えたり調べたりしたことを紹介しあう。 ○ 紹介する。 ・ 「炎王図」は、不動明王の背後に描かれた炎が印象的な作品です。 ・ 「白嶂」は、白い岩肌がまるで雪のように見えます。 ○ 感想を交流する。 ・ 元宋さんが屏風のような絵に挑戦したわけがよく分かりました。 ・ 奥行きを表すために何色も何色も重ねているところを自分の表現に生かしたいと思います。	・ 児童が意欲的に取り組めるように、最後に○○さんから講評をしてもらうことを伝える。 【児童の意欲を高める言葉がけ】 「お気に入りの絵について、しっかり伝えよう。最後に○○さんにみんなの発表がしっかり伝わったか聞いてみましょう。」 ワークシートに友だちの発表を聞いて思ったことや感じたことを書き込ませる。その時、評価の観点を具体的に与えておくようにする。 【児童の意欲を高める言葉がけ】 「元宋さんの思いにふれることができたね。」 「この色にはそんな意味があったんだね。」 「遠くを表すためにこんな色使いをしているんだね。」	・ 自分が読み取ったり考えたりした内容を人に伝えようとし、友だちが伝えようとしたことを感じ取ろうとしている。 【鑑賞の能力】 (行動観察・ふりかえりカード)
3 ○○さんの講評を聞く。	・ あらかじめ評価してほしい観点について、講評をいただく方にしっかり伝えておく。	
4 本時の自己評価をする。	・ ふり返りカードに、自己評価をさせる。	